



# 学校だより

9月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



前向きな気持ちをもって

校長 西山 久美子

夏休みは緊急事態宣言の中での生活が続き、保護者の皆様にはご家族やお子様の健康にご配慮された日々だったことと思います。まさかこんなに長く続くとは、まさかこんなに感染が広がるとは、まさか・・・という言葉が何度も出てまいります。しかし、先の見えない不安な日々ではありますが、今私たちができることは、基本的な感染対策をとりながら、睡眠、栄養をしっかりと明るく前向きな気持ちをもって過ごすことだと考えます。学校は分散登校でのスタートとなりました。子どもの安全を最優先にしながら、制限がある活動の中でも「今、何ができるか。」「どうしたらできるか。」を考え職員一同力を尽くしてまいります。また、感染拡大防止にあたっては、ご家庭のご協力も不可欠です。免疫力を高めるためにも、規則正しい生活を送ることができるようご協力をお願いいたします。

さて、この夏休みには東京オリンピックやパラリンピックをテレビ観戦する子ども達も多かったことと思います。出場選手の真剣な表情や見事な技からたくさんの感動をもらうと同時に、世界の舞台に上がるまでの選手たちの道のりを思うと熱いものがこみ上げてきました。数々の困難を乗り越えて目標に向かって努力を重ねてきた選手達から、がんばることの尊さを教えてもらったように思います。子ども達もアスリートの姿から多くのことを学んだのではないのでしょうか。

ところで、アスリート達が苦しい練習を続けるとき、または思うような記録が伸びず不安と闘うとき、大会前の緊張に打ち勝たなければならないときなどには、心の整え方、心の保ち方が大きくかかわると聞きます。それは、スポーツの世界だけでなく、私たちの日常の中でも同様なのだと思います。何かに取り組もうとするときには、乗り越えるべき壁や困難だと感じることにいくつも出合います。しかし、どう心を整え自分にとってプラスに考えられるかという「前向きな気持ち」をもつことが、乗り越える力となり、自分を成長させることにつながるはずです。

今の私たちを取り巻く厳しい状況の中、こんな時だからこそ、子ども達には、なんとかするぞ！がんばると楽しい！大丈夫だ！という前向きな気持ちをもって生活してほしいと願っています。